

校長室だより **春日** (しゅんじつ)

校長 清武 直人

引き渡し訓練

昨日の午後、地震に伴う引き渡し訓練を行いました。朝から雨が降っていたため、雨天バージョンで体育館を引き渡し場所として実施しました。雨天バージョンは初めての経験でした。

保護者の受付を開始して間もなく、ご年配の方にお叱りを受けました。

「でたらめじゃないか！統制がとれとらん！」

お叱りの通りでした。前日に、雨天を想定して流れを確認していたにもかかわらず、想定外のことが続出。恥ずかしい限りです。

しかし、この雨に感謝しました。この経験をしないままに災害に遭遇していたら、大混乱になっていたと思います。

体育館での引き渡しは、雨天時の地震発生時だけではなく、児童の下校時に豪雨が降り続く場合も想定されます。

お叱りを受けたことに、そして、昨日の雨に感謝しながら改善点を整理しています。早急に整え、いざという時に備えます！

学校探検

昨日の午前中は、1年生の学校探検でした。2年生が1年生の手を引いて、学校の中を案内します。さすが2年生。なかなかのお兄さん、お姉さんぶりです。

校長室にもやって来ました。少しばかり遠慮がちに入って来ました。せっかくやって来た1年生と2年生にこっそり手品を披露しました。

「わー！すごーい！！」

子どもたちの驚きようにちょっと調子にのってしまいました。

こんなことばかりしては子どもたちの学習にならないと思い、校長室に飾られている歴代校長の写真を紹介することにしました。すると、2年生の男の子が写真を眺めながら言いました。

「みんな校長室で手品をしていたんですか？」 (*° 〇°)

**補 欠**

もう随分前のことです。当時の西日本短期大学附属高等学校野球部の監督さんのお話を聞く機会がありました。

「選手に選ばれなかった部員たちは、チームが勝つために、選手のために自分たちは何ができるか徹底的に考える。」

このようなお話でした。このお話を聞きながら、ずっと昔に出会った、剣道をしていた子が書いた作文を思い出していました。

「ぼくは、ずっと補欠でした。選手として出ることができませんでした。とても悔しかったです。試合の時、選手を応援しているはずなのに、選手が1本取られると、ぼくは心の中で喜んでいました。」

誰もが思い描きがちな人間の心です。誰でも似たような感情を持った経験があるはずです。

西短野球部で選手になれなかった部員たちも、ひょっとすると一時期はこのような感情を抱いたことがあったのかもしれない。しかし、とことん鍛えられ、チームが成熟していく中で、一人一人が仲間のために何をすべきかということを見習っていったのでしょうか。

仲間に対する「嫉妬心」が仲間への「貢献の心」に変わる時、人間は大きく成長するのでしょうか。誰もが、人生のどこかで学ばなければならないことだと思えます。

間もなく迎える運動会も、そのようなことを学ぶ場の一つなのかもしれません。

